

## IUBMB Focused Meeting on GATA Transcription Factors にて short talk 及びポスター発表

2018年5月28日から6月1日にかけてギリシャのクレタ島で開催された IUBMB Focused Meeting on GATA Transcription Factors に私は参加をしてきました。本学会は1997年に第1回が開かれ、今回で6回目となる国際生化学・分子生物学連合からの資金提供を受けて開かれている学会で GATA 転写因子に焦点を当てたものです。本学会では GATA 転写因子研究の最先端の研究を行っている国際的な専門家30人以上が講演者として講演を行いました。私は、Short Talk 及びポスター発表を行い、Travel Award に選ばれました。

私の発表演題「Determination and crystallization of GATA4 dimerization domain」は心不全の発症、進展に関与している転写因子 GATA 4に関するものです。これまでに GATA 4 は心不全の発症、進展に関与していることが知られていましたが、どのように制御されているかは不明でした。そこで本発表では、GATA 4 が2量体を形成することで転写を制御していることを発表しました。また、本学生命物理化学教室(橋本博 教授)との共同研究で、どのように2量体を形成しているのかを解明し、構造に基づくドラッグデザインを行うために X 線結晶構造解析を行おうとしています。現在結晶の作成及び分解能 3.1 Å の回折データの取得に成功していましたので、そこまでのデータも含め、発表しました。

本学会は、これまで私が多く参加していた薬学領域、循環器領域の学会と異なり分子生物学領域の学会であったため、今までと違った切り口や発想を得ることができました。また GATA 転写因子に集中した学会であったため、自身の研究に対し、非常に有意義なディスカッションができ、助言をいただくことができました。また他の GATA 転写因子と比較し、似ている点、異なる点、また不明な点などを見つけることができました。

今後、GATA 4 の研究を続けていく上で、本学会で学んだ知識、考え方を活かしていきたいと思えます。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 分子病態学講座

博士後期課程1年 清水 聡史

関連リンク

[静岡県立大学 分子病態学講座](#)

[静岡県立大学 生命物理化学講座](#)

[IUBMB Focused Meeting on GATA Transcription Factors のホームページ \(英語サイト\)](#)

